

バンクリーグ 新型コロナウイルスに関するガイドライン

2020.06.29

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、HP 等で注意喚起を行うとともに、大会開催については以下のとおり対策ガイドラインを定める。この内容を基本とし、新型コロナウイルス対策のために行い得る最適な施策を適宜採り入れながら、細心の注意を払って大会運営を行うものとする。

ただし、今後新型コロナウイルス感染症対策専門家会議等公的機関のガイドラインに見直しが入った場合、また事務局がより効果的、効率的な運営ができると判断した場合はガイドラインを見直す事もある。

■基本方針

【一般社団法人サイクルスポーツ振興会（JCSPA）】

選手及び帯同スタッフ、大会運営スタッフ・及び来場者の安全確保に細心の注意を払い、大会運営に万全を尽くす。

開催地における行政の意向を最優先し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため最大限の努力と対策を行い、具体的な施策を HP 等で公開する。

（バンクリーグオリジナル感染拡大防止ポスター：別添 1）

【参加チーム】

大会に参加する全ての選手及び帯同スタッフは、自己の責任において「大会に参加すること及び当ガイドラインを遵守することを明記した誓約書」（別添 2）を、チーム代表者名で提出する。

提出期限は大会期日の 1 週間前とする。

【JCSPA、参加チーム 共通】

大会当日に会場入りする全ての選手やスタッフ等は、「健康状態申告書」（別添 3）に記入し、大会 3 日前から前日 24 時までの期間に提出する。これがない場合、大会への参加や会場入りを認めない。

下記に該当する場合は、何人も大会会場に入ることができない。選手は大会に参加することができない。

- ・平熱を超える発熱（概ね 37 度 5 分以上）
- ・咳、喉の痛みなど風邪の症状
- ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

- ・臭覚、味覚の異常
- ・身体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方が居る
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は該当者との濃厚接触がある

■対策

▼運営全般

- ・選手、チームスタッフ、大会スタッフ、プレス等に対して「健康状態申告書」(別添 3) の提出を義務付け、これが無いものは入場できないよう徹底する。
- ・最新情報や留意事項を確認し、その状況に応じて遅滞なく対応する。
- ・開催地自治体および関係機関・団体と連携し、関係情報の共有に努め、連絡体制の整備を行う。
- ・事前に厚生労働省の相談窓口、都道府県・保健所等の相談窓口の連絡先を確認し救急体制を整備し、緊急時の対応を迅速に行う。
- ・感染の拡がりや重症度をみながら、必要に応じて大会の規模を縮小する。
- ・来場予定者へ事前の注意喚起を行う(体調確認、手洗い、うがい、マスク、咳エチケット)。
- ・人と人との距離を一定(2m 目安)とし、大声での会話は飛沫防止のため控える。

1. スタッフ勤務時の留意事項

- ・出勤は必要最小限の人数とし、ジョブローテーションなどを活用する。
- ・勤務時にはマスク着用を徹底する。
- ・高リスク者発生時には保健所と連携し徹底した対応を行う。
- ・会場内を定期的に巡回し、適宜消毒作業をする。

2. 施設対応

- ・手指アルコール消毒等の一般感染対策(各所に消毒液の設置)。
- ・非接触型体温計を準備し、大会会場入口にて全入場者の検温を実施する。
- ・アルコール消毒液を多数準備し、施設・備品の消毒を頻繁に実施する。
- ・発症者又は疑いのある者の大会場内隔離スペースを準備する。
- ・人が滞留する空間には、間隔を開けたスペースづくりを行う(椅子を間引くなど)。
- ・室内の換気を徹底する(蚊の侵入に注意)。
- ・インターネットやスマートフォンを使った電子的な事務処理の一層の普及を図り、会場での書面の記入や現金の授受等を避ける。

- ・ウォーミングアップは原則屋外で行う（荒天時のみ検車場使用、この時換気は十分に行う）。
- ・会場内に感染拡大防止ポスターを掲示、MCによる案内を行う。

3. 参加チーム

- ・大会に参加する全ての選手及び帯同スタッフは、自己の責任において「大会に参加すること及び当ガイドラインを遵守することを明記した誓約書」（別添 2）を、チーム代表者名で提出する。提出期限は大会期日の 1 週間前とする。
- ・JCSPA が事前にアナウンスする「健康状態申告書」（添付 3）に記入し、大会 3 日前から前日 24 時までの期間に提出する（このリストを提出しない場合、大会への参加を認めない）。
- ・ウォーミングアップ、競技中を除き常にマスクを着用する（マスクは各自が用意する）。
- ・他の参加者、運営スタッフ等との距離（出来るだけ 2m 以上）を確保する。
- ・移動時等は間隔を確保する、手洗いや消毒、咳エチケットなど、感染予防を心がける。
- ・大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
- ・屋内にいる時は定期的な換気を行う。
- ・食事（補給）は集団ではなく個々に摂り、できるだけ個別包装の食事を選ぶ。
- ・大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、JCSPA に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

▼開場～レース中

- ・コロナ収束が認められるまでは、原則的に人数を限定とした有観客試合とする。
- ・レース前の整列時は選手間で距離を取るようにし、密を避ける。
- ・レース中、選手間の大声での会話は禁止とする。
- ・唾や痰を吐くことは禁止とする。

▼来場者

- ・入場時、マスクの着用、手指アルコール消毒、非接触型体温計での検温を行う。
- ・入場時、また観戦時に JCSPA の求める危機管理対策指導に応じない場合は、入場を制限、退出を命じる措置を取る。
- ・観戦中は原則、配布するフェイスシールドを着用する（飲食時はソーシャルディスタンスを保って、一時的に外すことは認める）。
- ・選手との接触（ハイタッチ等）は禁止とする。

▼その他

- ・開会式では必要最低限の人数で実施する。
- ・表彰台での写真撮影、集合写真等は、選手同士の距離を一定に保ったままで行う。

【大会参加者やスタッフ等から新型コロナウイルス感染者が出た場合の措置】

▼JCSPA

- ・競技大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設が立地する自治体の衛生局とあらかじめ検討しておく。
- ・感染者が出た時点で、定められた機関へ報告し、必要な手段を講ずる。また、関係機関、団体へ連絡を行い、二次感染等拡大防止対策並びに大会実施の有無について協議する。
- ・JCSPA の大会が新型コロナウイルスの集団感染の場となった場合、社会に対する説明責任を負う。

▼参加チーム

- ・チーム代表者は、該当者の直近 2 週間の移動経路を連盟に提出（個人のプライバシーには十分に配慮）するなど、JCSPA に対し協力を行う。
- ・当該チームの全選手とスタッフ、及び濃厚接触が疑われる者の 2 週間の自宅待機、その他、当該選手やスタッフと移動、食事や宿泊を共にした者は原則、全員検査を受ける。
- ・上記にかかる一切の費用はチーム及び個人負担とする。
- ・チームは新型コロナウイルス感染症に罹患したことによる損害の補償や責任を連盟に求めることができない。

以上

